



選考委員特別賞
リリー・フランキー賞

おちやのおしごと

南九州市立青戸小学校 二年

折尾 皇明

ぼくのおとうさんとおかあさんは、おちやのしごとをしています。

おとうさんのおしごとは、はたけにひりょうをまいたり、こうばの中でおちやをむしてかんそうさせるしごとをしています。このあついなつでもきかいをうごかしているのです、こうばのなかはもつとあついです。

おかあさんは、こうばのじむしつで、おちやのおもさをはかったり、パソコンをしたりしています。おかあさんは、

「おもさをまちがえないようにするのがたいへんよ。」

とおしえてくれました。みなさんは、おちやといえは、四・五月をそうぞうするとおもいますが、それは、一ばんちゃです。今、やっているのは三ばんちゃのさぎょうです。かりとってきたおちやのはをかんそうさせて、おちやのはつばをよりこんでいきます。そのさぎょうをくりかえして、おいしいおちやができあがります。おとうさんとおかあさんが、あせをいっばいかいて、つくってくれたおちやはとてもおいしいです。

ぼくは大きくなったら、おとうさんたちみたいにおちやのしごとをして、みんなにいしいおちやをのませてあげたいです。とくに、おとうさんとおかあさんには、ぼくがつくったおちやをのませてあげたいです。そして、「こうめいも、おちやつくりがじょうずになったね。」といわれるためにがんばります。

いまままでに、おばあちゃんといっしょに、おちやをつむきかいてのって、おちやつみをしたことがあります。おちやの木はきれいにならんでいるので、はみでないようにハンドルをもってそうさしていました。また、おじ

いちゃんとは、つんだおちゃのはをダンプでこうばには
こぶこともしました。

おちゃをなんどもなんどもこうじょうにはこんで、す
ごくいそがしいしごとでした。

ぼくは、一人でおちゃをつむきかいのつてみたいと
思っています。そうすれば、おばあちゃんやおじいちゃ
んにもっと楽しんでもらえるからです。

おちゃづくりのたいへんさをおとうさんに聞いたたら、
そだてかたやつくりかたで、あじや色が変わるそうです。
いっしょうけんめいにそだてるとよいおちゃができて、
ちよつともさぼるとおかしなおちゃになるそうです。
だから、ぼくのかぞくはみんないっしょうけんめいしご
とをしているんだなと思うとぼくのかぞくのことをしま
んしたい気分になりました。

大きくなったら、のむ人がえがおになるようなおちゃ
をつくりたいです。そのためには、のんでくれる人のこ
とを思つて、心をこめながらいいかげんなことをしな
い、いっしょうけんめいにつくりたいです。